

避難支援プラン（個別避難計画）作成 の推進について

長岡京市

R6.9.5 障がい者ネットワーク連絡調整チーム会議資料

支援が必要な人に対する取組の背景

東日本大震災(H23)

65歳以上の死者数 全体の約6割 障がい者の死者率 全体の約2倍

有事に一人で避難することが難しい人(避難行動要支援者)に対して対策が必要

平成25年災害対策基本法の改正



災害時要配慮者名簿作成が義務化

★近年の豪雨災害における高齢者の死者の割合

平成30年7月豪雨(約70%) 令和元年台風19号(約65%) 令和2年7月豪雨(約79%)



依然として被害は高齢者等に集中

災害対策基本法の改正（令和3年5月）

第49条の14

市町村長は、地域防災計画の定めるところにより、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、当該避難行動要支援者について避難支援等を実施するための計画（以下、「個別避難計画」という。）を作成するよう努めなければならない。

ただし、個別避難計画を作成することについて避難行動要支援者の同意が得られない場合は、この限りでない。

地域の実情を踏まえながら

- ・ **優先度が高いと市町村が判断した者**
- ・ **改正法施行後からおおむね5年程度で取り組む**

<考慮すべきポイント>

- ① 地域におけるハザードの状況（洪水・津波・土砂災害等の危険度の想定）
- ② 避難行動要支援者本人の心身の状況、情報取得や判断への支援が必要な程度
- ③ 独居等の居住実態、社会的孤立の状況

※優先的に支援する計画づくりと並行して、**本人・地域記入**の個別避難計画づくりを進める

取り組みに当たって

発災時にスムーズに避難行動に移すため、災害が起こる前にあらかじめ避難方法や避難支援の内容について決めておく

避難行動要支援者全てに作成 ⇒ 一斉作成には困難がある

以下の二つの手段(公助、自助・共助)での個別避難計画の作成を推進

- ① **公助**による取り組み：**災害リスクの高いエリアに居住し、避難行動に支障がある人**を、福祉事業者の協力を得て**優先的に計画作成に取り組む**
- ② **自助・共助**による取り組み：**本人や家族、避難支援者等関係者**により**計画作成に取り組む**

優先度の考え方

災害時要配慮者（避難行動要支援者）【令和6年1月】約2400人

同意者（制度登録者）

不同意者

ハザードリスク
なし

ハザードリスク
あり

優先度
の高い
人

ハザードリスク
あり

ハザードリスク
なし

自助・共助に
よる計画作成推進

個別避難計画作成必要

個別避難計画作成必要

制度説明理解
促進

身体状況で優先度を振り分け

自助による計画作成
どのように避難するかをあらかじめ自分で決めておく

共助による計画作成
避難支援者や地域の人とどのように避難するかを一緒に決めておく

公助による計画作成
普段から付き合いのある福祉事業者に協力を得て計画作成

制度登録
同意勧奨

市からの勧奨
ケアマネ等からの勧奨

地域におけるハザードの状況

例)大雨(立ち退き避難が必要になるケース)(目安)



- 小畑川・桂川が氾濫時に浸水深3m以上(2階床上相当)の区域に居住

⇒河川の氾濫時、居室が浸水深よりも下にあるため家にいると危険が及ぶことが想定される



- 土砂災害特別警戒区域、警戒区域に居住



【現在の長岡京市災害時要配慮者支援制度対象者】

- (1) 介護保険における要介護認定を受けている人(要介護3・4・5)
- (2) 介護保険における要介護認定を受けている人(要介護2)で65歳以上のみの世帯の人または一人暮らしの人
- (3) 身体障害者手帳(1・2級)の交付を受けている人
- (4) 精神障害者保健福祉手帳(1・2級)の交付を受けている人
- (5) 療育手帳の交付を受けている人(A、B)
- (6) 75歳以上のみの世帯の人または一人暮らしの人
- (7) その他、上記以外で支援を希望する人(難病者、日常生活に支援を要する人)

【長岡京市で優先的に取り組む対象者】

- ・介護保険における要介護認定を受けている人(要介護3・4・5)
- ・肢体不自由・視覚障害により身体障害者手帳1・2級の交付を受けている人
- ・精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている人(丁寧な説明や対応に努めながらすすめる)
- ・療育手帳Aの交付を受けている人
- ・その他支援を必要とする人(難病指定を受る等)

優先的に取り組む人の作成フロー

作業順	関係者
①対象者の選定	市(ハザードリスクと身体の状態などを勘案しピックアップ)
①福祉事業者(相談支援専門員やケアマネ)へアプローチ	市(高齢・障がい部局)
②本人へアプローチ	市、福祉事業者
③個別避難計画を埋める	本人(及び家族)、市、福祉事業者
④地域とのマッチング、情報の共有	本人(及び家族)、避難支援者、自治会(自主防災会)、民生児童委員、市、福祉事業者
⑤市への終了報告	福祉事業者

この部分をお願いいたします。

優先度が高い方(ハザードリスクと身体状況)から個別避難計画の作成に取り組む
R5年度5事例、令和6年度は対象者への声掛けを行い、順次作成をすすめる

※市は防災部局(防災・安全推進室)と福祉部局(地域福祉連携室、高齢介護課、障がい福祉課)が計画作成に携わる

支援者や地域の方をお願いしたいこと

- 災害対策基本法改正により、個別避難計画の作成が努力義務になり、福祉の支援者も支援に関わることになります。
- “災害時要配慮者 避難支援プラン(個別計画)”の空欄部分をご本人や家族と一緒に埋めてください。

- **情報共有会(顔合わせ)【市が主催】**

地域の方に状況を知っていただき、普段からの見守り活動に繋がります。

- **避難支援プランの保管**

- **避難訓練の実施**

地域での防災関連の集まりには時に声掛けいただき、一緒に避難訓練をお願いします。

- **有事の際の気づき**

複数の支援方法の確保や避難者が孤立しないよう、支援に努めてください。

普段からの関係者(避難行動要支援者、避難支援者、自治会・自主防災会、民生児童委員、福祉事業者、市役所)間での、顔の見える地域のつながりが大切です。

個別避難計画の作成は、支援者や地域の皆様のお力を借りながらすすめてまいります。

ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

災害時要配慮者 避難支援プラン(個別計画)

この個別計画に関する情報は、災害時の避難行動に支援を要する人(災害時要配慮者)の日常の見守り支援、災害時の安否確認、避難行動等の支援に役立てるためのものです。それ以外の用途に使用したり、共有する必要のない人に情報を提供することを禁止します。

ながおかきょうしちょう
長岡京市長

自治会等の班・組	
----------	--

登録日 令和4年10月1日 変更登録日 令和4年10月1日

1. 本人の情報・・・登録内容が変わったら、市へ変更届を提出してください

台帳番号	0000	電話番号	075-000-0000	生年月日	昭和23年1月1日
フリガナ	ナガオカ タロウ	携帯電話		性別	男
氏名	長岡 太郎	FAX番号	075-000-0000		
住所	京都府長岡京市開田1丁目・・・				
自治会名(自主防災組織名)	開田	加入			
民生児童委員名	〇〇〇〇	地区名	中地区		
世帯状況	一人暮らし	世帯人数	1名		

支援情報	<input checked="" type="radio"/>	立つことや歩行ができない	<input checked="" type="radio"/>	音が聞こえない聞き取りにくい		物が見えない(見えにくい)		言葉や文字の理解が難しい
		危険なことを判断できない		顔を見ても知人や家族と分らない		コミュニケーションが取りにくい		
その他の必要な支援								

心身の状況	【メモ欄】 車いすで移動可能 ・糖尿病で毎日服薬 ・左側から話しかけると比較的聞こえやすい
-------	---

2. 家族等連絡先(緊急時の連絡先)・・・登録内容が変わったら、市へ変更届を提出してください

フリガナ	ナガオカ キョウコ	電話番号	03-000-0000	続柄	子
氏名	長岡 京子	携帯電話	090-0000-0000		
フリガナ		電話番号		続柄	
氏名		携帯電話			

3. 避難支援者の情報・・・登録内容が変わったら、市へ変更届を提出してください

氏名	乙訓 一郎	電話番号	075-111-1111	携帯電話	090-1111-1111
本人との関係	近隣者	住所	京都府長岡京市・・・		
氏名	京都 花子	電話番号	075-222-2222	携帯電話	090-2222-2222
本人との関係	近隣者	住所	京都府長岡京市・・・		

避難支援者の情報	【メモ欄】 乙訓一郎さんが車いすを押して避難
----------	---------------------------

4. 避難するとき・・・避難予定場所が変わったら、市へ変更届を提出してください

①避難する際の声かけ	だれから	乙訓一郎さん	【個別訪問】電話／携帯電話／ファクス／電子メール】で
	気をつけること	糖尿病の薬を持たか確認する	
②避難所までの搬送・付添い	いつも使っているくすり、生活用具、補装具	車いす、糖尿病の薬	
	生命維持に関わる医療処置・機器の必要性		
	気をつけること		
③避難所での生活	気をつけること	音声案内の内容は個別に伝える、紙に書いて見せる	

避難予定場所	一時的な避難場所	風水害時の避難所	震災時の避難所
	〇〇	〇〇	〇〇



5. 関係者の情報

担当ケアマネジャー 又は相談支援専門員	氏名		事業所名		電話番号	
かかりつけのお医者さん	氏名	長岡 治	名称・診療科	長岡クリニック	電話番号	075-333-3333

【メモ欄】